令和７年度　江戸川区立小松川中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・進んで学び、深く考え行動する生徒（知） ・心豊かで、地域社会に貢献する生徒（徳） ・心身共に自ら鍛える、たくましい生徒（体）	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○生徒・保護者・地域から信頼される学校○生徒が夢をもち、生徒の輝く笑顔がいつも溢れる学校 ○自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒○思いやりの気持ちと豊かな心をもちルールを守る生徒 ○人に温かく優しく、仕事に厳しく、服務には厳正な教職員集団
前年度までの本校の現状	成果	〈成果〉 統合校として、公務の円滑な運営のために教職員が一致団結して学校運営にあたり。その中で、担当の教職員が中心となり新たな発想を生み出し推進できたこと。またそのことで教員の力量が向上したこと。 〈課題〉 学力向上に対する全教員の授業改善の課題意識	課題	（学力向上） 基礎額学力の定着。全国学力学習状況調査においてすべての教科で都の平均を上回ること。 （生徒主体の安心安全な学校づくり） 生徒会が主体となり学校に誇りを持った生徒の育成

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	全教員の授業改善の更なる推進	ICT,学習形態、授業形態、使用教材においての視点の工夫を取り入れ、年間３回の教員相互による授業観察を行う。	令和７年度全国学力学習状況調査の結果において都の平均を上回る。											
	魅力ある学級経営	学級経営を得意とする教員を中心に据え、過去の実践をもとに校内で共有。分科会を設置し魅力ある学級から学力の向上を図る。	年２回のQUテストにおいて２回目が全学級が肯定的な意見が上回る											
	○読書科の更なる充実	巡回図書担当と本校担当の図書運営の充実	全校生徒への図書室の活用についての説明会の実施を１回実施。											
体力向上	男女共修を最大限生かした保健体育科の授業改善	工夫した段階的なゲーム形式を取り入れ、教えあい学習を通して体育の好きな生徒を育てる。	新体力テストにおいて全校生徒の体力合計点を昨年度より５％向上させる。											
	運動部の活性化	各部活動の体力向上にかかる効果的な年間計画の作成	部活動指導員・外部指導員の活用											
	新体力テスト	新体力テストの活用と分析	全国の平均を全学年で上回る。											
	○特別支援学級との交流	体育的行事、文化的行事における交流学習	運動会と合唱コンクールの合同実施											
	○夜間学級との交流	教職員の授業交流の実施 卒業式の合同実施	年２回の授業交流											
	エンカレッジルームの充実	保護者への紹介及び理解推進	紹介パンフレットの作成											

	不登校対応	「不登校対策委員会」を要とした組織的な対応	年度初めから年度末にかけての引きこもり生徒の減少											
	いじめ防止	いじめアンケートの活用 QUテストの活用 小松川SNSルールの策定	いじめ（年3回） QU（年２回）の分析・活用											
	個に応じた指導の充実	「特別支援委員会」を要とした組織的な対応	特別支援委員会の毎週1回の実施											
	地域行事への積極的な参加	年間で４回ある大きな地域行事への教員および生徒の参加	全教職員が年１回は地域行事に参加する。											
	学校HPの充実	ホームページ委員会の充実	月１０００回以上の閲覧回数											
	学校評議員期の充実	教育課題実践推進校の取組、いじめアンケートの提示	学期に1回の学校評議委員会の取組											
	魅力ある学級経営と生活習慣の改善に対する取組	学力向上を目指すための分科会①「魅力ある学級経営」②「生活習慣の改善」の取組	QUの結果及び生活習慣改善アンケートの肯定的回答の増加											
	区の施策の効果的な実践	学力向上を目指すための分科会③「区の施策の効果的な実践」の取組	補習教室を長期休業中に集中的に実施 よむYOMUワークシートの年間取組											
	特支学級の学力向上	教育課題実践推進校の取組としてキャリア教育を柱に据えた取組	ICTを活用した公開授業の実施											